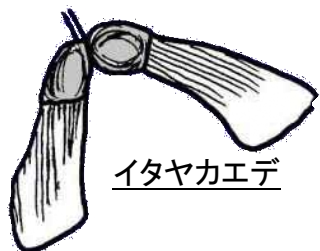


# ち タネはどうやって散らばるの？

## かぜ はこ 風によって運ばれる

とても軽く、風へのりやすいように  
つばさやわた毛がついています。



イタヤカエデ



ススキ

## どうぶつ 動物にくっつく

表面にとげがあったり、ねばつく液を  
だしたりして、人間の洋服や動物の体  
にくっつきます



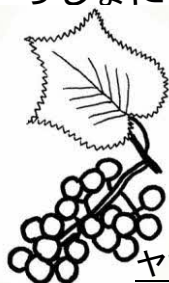
ヒシ



キンミズヒキ

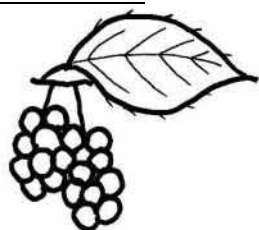
## とり た 鳥に食べられる

おいしい実をつけ、鳥に食べてもらい  
ます。タネはなくならずに、ウンチと  
いっしょに外に出てきます。



ヤマブドウ

チョウセンゴシ



## らっか 落下する

地面に落ちたときに、転がりやすいよ  
うに、丸くて重みがあります。



コナラ、ミズナラ  
のどんぐり



クリ

## こはん ウトナイ湖畔 タネたねガイド



ヤマグワ

あき 秋といえば実りの秋。  
いろいろな形をした「実」をさがしにいこう！！  
何種類くらいみつけれられるかな？

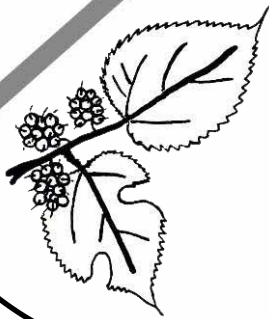
※ウトナイ湖では植物の採集はご遠慮いただいております。  
野生動物たちのために残しておいてね。

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

# こはん かんさつ ウトナイ湖畔 タネたね観察マップ

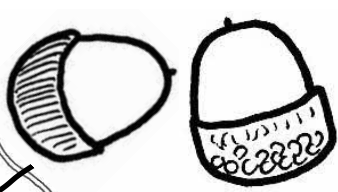
## ●ヤマグワ

山地や平地にはえる。  
葉の形はすべて同じではなく、  
葉に切れ込みがあったりな  
ったりする。  
8～9月に黒紫色の実がなる。



## ●コナラ、ミズナラ

いわゆる「どんぐりの木」。  
葉に大きなギザギザがあるのが特徴。  
9～10月に緑色のどんぐりがなり、  
そのうち褐色になり落下する。



## ●スミ

海岸から山地まで日当たりの  
よいところにはえる。  
5～6月に白い花が咲き、  
9～10月にはその名の通り  
サクランボのような  
実がなる。



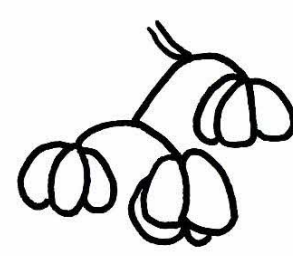
## ●ヒシ

7月に湖上に小さな  
白い花が咲き、  
8～9月ごろ  
緑色の実がなる。  
岸辺に打ちあがっている  
黒い実は去年より以前になった実で  
中味はもうない。  
果実をアイヌ語で「ペカンペ」という。



## ●マユミ

山地や原野にはえる。枝がよくしなうので弓に利用  
されていた。5～6月にうすい緑色の自立たない花が咲  
き、9～10月にうすい紅色のかわいらしい実がなる。  
実をつつむ外皮も紅色～薄紅色で目立つ。



ウトナイ湖  
野生鳥獣保護センター

ウトナイ湖サンクチュアリ  
ネイチャーセンター